

## REFORPAC 25: 第909空中給油中隊と米海軍厚木、KC-135の緊急時対応訓練を実施

*REFORPAC 25: 909th ARS, NAF Atsugi, train on KC-135 emergency procedures*

July 28, 2025

By Senior Airman Samantha White  
374th Airlift Wing Public Affairs

7月14日、在日米海軍厚木航空施設で実施された「REFORPAC 2025」演習の一環として、第374遠征航空団の米空軍・嘉手納基地第909空中給油中隊の隊員が、在日海軍地域消防・緊急即応司令部の消防隊員と共同訓練を実施した。この訓練は、KC-135ストラトタンカーの構造や緊急時対応の理解を深めることを目的としている。

(写真1)7月14日、海軍厚木航空施設で実施された「REFORPAC 2025」演習の日米共同訓練で、在日海軍地域消防・緊急即応司令部の消防隊員に話をする第374遠征航空団第909空中給油中隊の操縦士、コウヘイ・オオツカ中尉(中央)。

「REFORPAC」演習では、リスク管理を全段階で優先事項とし、空兵が最大限に能力を発揮できる環境、システムの信頼性、戦闘能力の持続性の強化を図る。

(写真2)第374遠征航空団の第909空中給油中隊KC-135ストラトタンカーの周りに配置された、3台の航空機救難・消防車。REFORPACは、現世代で初となる米国空軍省の省レベルの大規模演習シリーズで、計350機以上の統合部隊の航空機、12,000名以上の隊員が、3,000マイル(約4,828キロ)以上にわたる範囲の50以上の拠点で展開されている。

(写真3)第374遠征航空団の第909空中給油中隊KC-135ストラトタンカーの正面に配置された航空機救難・消防車。



1



2



3